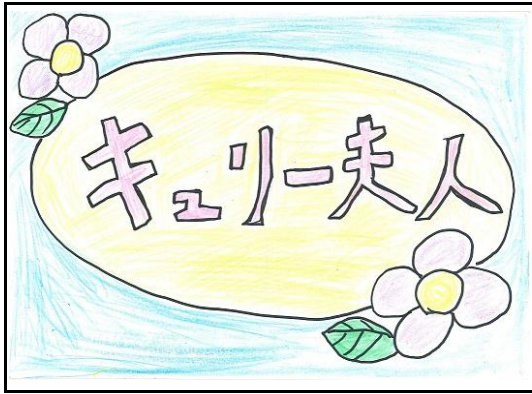


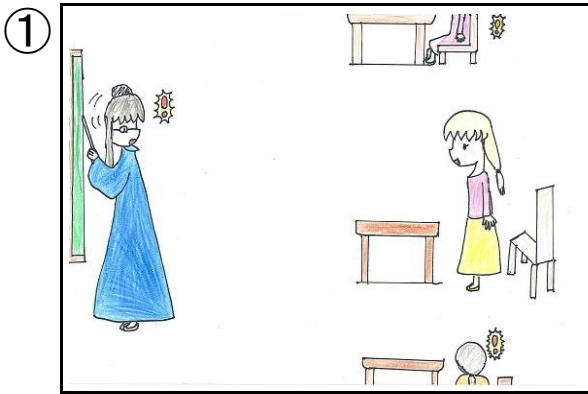
オリジナル紙芝居

【キュリー夫人】

S・Hさん



キュリー夫人



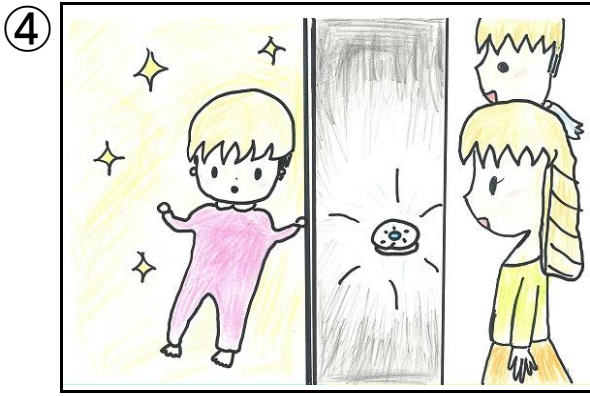
キュリー夫人は、1867年11月7日、ポーランドのワルシャワで生まれました。小さいときのキュリー夫人の名前はポーランド名でマーニャとよばれていました。マーニャは、すごくゆうしゅうな子供で中学校の



1890年、パリに出た姉ボローニャにつれられてパリに行きました。このときから、マーニャはフランス風に「マリー」という名前を使いはじめます。マリーはパリ大学に入学して研究を始めました。



1894年、研究で困っていた時に友達に「ピエール・キュリーに相談してみるといい。」と言われてピエールの家をほうもんしました。二人は急速に恋におちました。そして二人は結婚しました。



二人はその後も研究を続けました。
1897年、娘のイレヌが生まれました。
そして二人は研究を重ねて1898年に、ポロニウムとラジウムを発見しました。



二人はこのことにより1903年、ノーベル物理学賞を受賞しました。
その後、1904年に次女イブも生まれました。



家族が幸せに暮らしていけると思ったやさきの1906年4月19日、ピエールが事故で急死しました。
それでもくじけずマリーは二人でやっていた研究をやり続けました。



その努力がみとめられ1911年、2度目のノーベル賞(化学賞)を受賞しました。
その後も娘のイレヌとともに研究をつづけました。
そして、1934年7月4日、66才で亡くなりました。
キュリー夫人は一生をかけて人の役に立つ研

